

## ①個別データシート

種類 エネルギー

英名 Public electricity, Malaysia

整理番号: MY120001

分類 マレーシア

和名 系統電力, マレーシア

・GHG排出量 6.90E-01 kg-CO<sub>2</sub>e/kWh

・情報源分類 統計分析データ

・技術記述子 マレーシアの系統電力(受電端)

・技術の内容と機能 主な原材料: 各種燃料(エネルギー)

主な産出物: 系統電力

マレーシアにおける発電、送電を対象範囲にしている。

マレーシアでの発電は、水力、天然ガス火力(コンバインドサイクルを含む)、石炭火力、石油火力、軽油火力発電、であり、それらをすべて含めたデータである。

送電ロスも加味した受電端での値である。

・情報源

Ministry of Energy, Green Technology and Water: "NATIONAL ENERGY BALANCE 2008 MALAYSIA", p.41

・データ作成者コメント

・情報源の文献より、電力用燃料消費量(kTOE換算値)と発電合計量(kTOE換算値)を得て、原単位化した燃料は、MJ単位に換算して計上した。

・送電ロスは、IEAの2007年の値を用いて計算して、1.68%に設定した。

・上流はIPCCの排出係数を適用して作成した各燃料を電力用1次エネルギーに変換するプロセスに連鎖させている。そのまた上流の燃料生産プロセスについては以下の通り。

・マレーシアの火力発電で消費される石炭の95%超が輸入であるので、マレーシア石炭ではなく、標準プロセスの一般炭に連鎖させた。なお、他の燃料はマレーシアのデータがないので標準プロセスの各燃料生産プロセスに連鎖している。

・適用範囲

マレーシアにおける系統電力(受電端)に適用する。

・システム境界

資源採取からマレーシアにおける発電・送配電までを範囲とする。送配電ロスを含む。燃料の輸送は含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、瀝青炭火力エネルギー(石炭[Coal])由来のCO<sub>2</sub>(化石資源由来)、天然ガス火力エネルギー(天然ガス[Natural Gas])由来のCO<sub>2</sub>(化石資源由来)、である。

## ②入出力データ

| 区分      | フロー区分 | 品目名 | 連鎖した品目名           | 公開整理番号      | 数値       | 単位       | 備考  |          |
|---------|-------|-----|-------------------|-------------|----------|----------|-----|----------|
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力  | 水力[Hydropower]    | 電力,水力       | 8.54E-01 | MJ       |     |          |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力  | 石炭[Coal]          | 瀝青炭火力エネルギー  | 3.51E+00 | MJ       |     |          |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力  | 天然ガス[Natural Gas] | 天然ガス火力エネルギー | 5.93E+00 | MJ       |     |          |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力  | 軽油[Diesel Oil]    | 軽油火力エネルギー   | 1.30E-01 | MJ       |     |          |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力  | 燃料油[Fuel Oil]     | 重油火力エネルギー   | 7.87E-02 | MJ       |     |          |
| 製品      | 中間フロー | 出力  | 系統電力,マレーシア        | 系統電力,マレーシア  | MY120001 | 1.00E+00 | kWh | 受電端における値 |